

二周年



かみれん新聞

平成27年6月17日 ケアハウスかみれん
3年目突入です。

ごあいさつ

ケアハウスかみれんが出来てから、早いもので2年が経過しました。入居者もほとんど初期メンバーからかわりなく日々皆さんと共に生活をし、そして家族的な繋がりが日に日に深まり、家庭のようないろんな雰囲気の中、日々過ごしている今日この頃です。

今年も2周年にあたり、昨年度より施設が何をしてくるか、この機会に皆さんへお伝えできればと考へております。これをお読みいただき、ご家族や皆さまの中でお手伝い出来そうなお手伝いの事がございましたら是非お知らせ頂ければ幸いです。



発行年月日
2015年6月17日

発行人
塚本 和徳



編集者より
ひとこと

第二号！
2年目を振り返ります。どうぞお楽しみに。

行事実施表

- 7月 地域盆踊り
- 8月 調布花火大会 (屋上にて見学)
- 9月 三鷹市高齢者作品展 出展・見学
- 11月 紅葉見物 (神代植物園)
- 1月 初詣 (八幡大神社)
- 4月 花見 (境)
- 6月 バスハイク (館山方面)
- 6月 紙すき・絵手紙 (押し花)
- 9月 ペーパークラフトバンドバッグ作り
- 6月 クラブ作品
- 1月 園芸
- 2月 絞り染め
- 3月 飾り時計
- 4月 園芸
- 紙すき・絵手紙 (ステンシル)
- ツキイチ開催 風船バレー

前年度 予定二覧

かみれん イベントアルバム

9月

品展

三鷹市高齢者作



昨年度は出展が間に合わず 今年準備万端 三鷹市主催の作品展に出展しました。他の施設作品に触発され 作成魂に火が付いております。

11月

紅葉見物

(神代植物園・深大寺)



紅葉見物に行こうという意見が出て 意外と深大寺に行ったことないという方が多く 初の公共交通機関を使っての外出となりました。

9月

秋祭り



かみれんお隣の『神明様』でのお祭りに参加。大きな太鼓を鳴らす事が出来て ちょっとした厄払いも出来ました。



4月

お花見



毎年企画だけはあがるものの 天気にも恵まれず 今年はやっと念願のお花見が出来ました。何時も行っている境の周辺でしたが 今年満開の時期に行く事が出来て 街中の並木とはいえ見事に咲き誇っていました。この後ヨーカドーで一服…

いつもの

作品作り風景



①飾り時計作り

かみれんでは 沢山の手工芸を行っています。作品自体は 長い行程が必要な物もありますが 出来るだけ皆さんの手で作れるように 『出来ない〜』と嘆く声に鞭打ちながら ほとんどの工程を皆さん自身で仕上げます。



②紙すき・絵手紙

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32

第四回

バスハイタ

日時：2015年6月4日
場所：海ほたる・館山
羽田空港

入居者の皆さんと
海ほたる・館山
羽田空港国際線
ターミナルへと外
出してきました。

海ほたる



潮風と日差しが夏の雰囲気です。



空が高い…

羽田

館山



夏前の海の家作りで少し賑やかな海岸。

羽田空港国際線ターミナル。飛行機が次から次と下りてきます。『戦争に行く飛行機は無いね』と言った入居者の一言が時代を物語ります。

花畑IN三姉妹



飾り時計



今まで作った色々な小物をなんとか利用できないかと思っ
て作ったのがこの『飾り時計』
です。造花やビーズ アップリ
ケなど 今まで使っていた物を
それぞれ好きなように張り付け
て出来たのがこの作品です。並
べてみると 意外なほどファン
タジックな作品となりました。
この作品と下の絞り染めは 九
月の三鷹市作品展に出展する予
定です。お時間がございましたら
敬老の日に毎年行われてお
りますので 見学下さい。

絞り染め



四角形の
白い布に
細かい絞り
や大きな絞
りを入れて
染物を行
いました。
水で染ま
る染料を使
いましたが
なかなか染
まるまで時
間がかかり
少し薄く仕
上がりまし
たが、みん
な色々な仕
上がりを見
る事が出来
て 驚きと
共に楽しく
仕上がりま
した。

紙すき・絵手紙



この作品は 見た目
以上に行程のかかる作
品で 牛乳パックのコ
ーティングを剥がす↓
ちぎる↓水になじませ
ふやかす↓紙をすく↓
乾かす↓絵を入れる
等 単純に見ても二カ
月以上はかかってしま
います。今回は 野の
花を押し花にして 年
賀状としてご家族に送
りました。今年も暑中
見舞い用のがき作成
中です。どうぞお楽し
みに。

編集後記

「今年も 新聞出すんでしょ？」次
は五周年の記念にと思っていた職員
側にとつて 動揺は隠せません。
『じゅ：準備していない！』と思いつ
つも 色々な行事や作品を通して
今回のかみれん新聞第二号が完成し
ました。

どうして第二号を出すと思ったの
か聞いたところ 「あれは施設が何を
やっているか みんなに伝わるじゃ
ない。家族だつて周りに居る人だつて
安心でしょ？」

かみれんは 基本入居者の意思で
各行事などを決めている施設です。
入居者から教えられる事も多く 私
たち職員が考えなくてはならない事
が なかなか思い浮かべられない時
違つた目線で教え気付かせて頂く毎
日です。

老いる事は避けられなくても 出
来るだけ共に歩き続けられるよう
そして次号も楽しい報告が出来るよ
う 職員一丸となつて頑張つていく
所存です。

